

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費 (円)	交付金 充当額 (円)	事業実施による効果	事業開始	事業終了
1	防災活動支援事業	①新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため各避難所に防疫のための備蓄品を確保し災害時に備えるため。 ②町内避難所指定施設への備蓄品の購入費 ③—	1,611,886	1,611,886	感染拡大防止のための備蓄品を各避難所に配備することで、災害時の感染拡大防止に備えることができた。	R2.5.19	R2.12.24
2	公共的空間安全・安心確保事業	①庁舎内における感染症対策のための消毒用アルコール等購入及び各課カウンターへのビニール間仕切りの設置 ②消毒用アルコール、ハンドソープ、ペーパータオル、間仕切ビニール等、間仕切用木材、サーマルAIカメラ、脚踏消毒ポンプスタンドの購入費 ③大郷町	499,914	499,914	消毒用アルコール、サーマルAIカメラ、間仕切を設置することで、来庁者及び職員の間仕切内での感染拡大防止に資することができた。	R2.4.21	R2.12.28
3	新型コロナウイルス農業特別対策資金利子助成	①新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための外出自粛等により、消費が減少し、価格等の下落により農業経営の維持が困難になった農業者の運転資金の利子補給をするもの。 ②利子補給 ③町内の農業者	273		経営が悪化した農業者に対する利子補給による経済的支援であり、農業者の運転資金確保を図ることができた。	R2.6.4	R3.3.4
4	新型コロナウイルス畜産特別対策支援事業交付金	①新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための外出自粛等により、牛肉の消費が減少し、市場価格等が下落したため、農業経営の維持を目的として支援する。 ②飼料代の一部 ③町内の畜産農家	12,045,000	12,045,000	経営が悪化した畜産農家に対して飼料代の一部を補助することにより、畜産農家の経営維持を図ることができた。	R2.6.4	R2.7.9
5	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	①感染症拡大防止のため緊急事態宣言に基づく休業要請を実施するための協力を金 ②休業要請等に全面的に応じた事業者に対し、協力金を交付 ③休業要請等に協力した事業者	5,100,000	1,700,000	対象事業者に休業等の協力をいただき、感染が拡大することを防止することができた。	R2.5.1	R2.9.10
6	新型コロナウイルス感染症事業継続支援交付金	①新型コロナウイルス感染の発生に起因して、経営の安定に支障を来している中小企業者及び個人事業者の経営及び雇用の持続を緊急的に支援するもの ②経営の安定に支障を来している事業者に対し支援金を交付 ③・大郷町内に事業所を有する中小企業者及び個人事業主 ・売上高が、令和2年1月から同年5月までの任意の1か月間と前年同月を比較して20～50%減少していること	2,500,000	2,500,000	売上高が減少した中小企業者及び個人事業者に対し支援金を交付することで、事業者の経営安定を図ることができた。	R2.6.4	R2.9.24
7	商品券発行事業補助金	①新型コロナウイルス感染症の影響の緩和、地域経済の活性化及び町民の消費活動の支援を図るもの ②くろかわ商工会が取り組む町内全世帯に対する1万円の商品券の発行、取扱事務に対する経費及び商品券を書留郵便で送付するための郵送料 ③くろかわ商工会	28,757,806	28,757,806	町内全世帯に商品券を発行することで、町内での消費喚起につながり、町内における経済活動の活性化に資することができた。	R2.6.4	R3.3.30
8	小学校スクールバス臨時増便事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スクールバス路線のうち過密乗車となる3路線について増便し、1便あたりの乗車人数をバス定員の半数、1便あたりの乗車数を20名程度として座席間隔を確保するもの ②地方負担のバス借上料に充当 ③大郷町	2,310,132	2,310,132	1便あたりのバスの乗車人員削減により座席間隔を確保することができ、車内での飛沫感染を防止を図ることができた。	R2.5.1	R3.3.31
9	小・中学校図書購入事業	①小・中学校の学校再開後の三密を回避するため、分散登校や時差登校・下校によって生じる校内での時間を少しでも有意義に過ごすように図書室蔵書を増加するもの。 ②地方負担の学校図書購入費に充当。 ③大郷町立小・中学校	803,452	803,452	分散登校や時差登校によって生じる空き時間においても、児童・生徒が図書室を有効活用でき、有意義に過ごすことができた。	R2.10.1	R3.3.31
10	教員補助者配置事業	①特別支援学級や低学年普通学級(1～3学年)の教員補助員として独自に配置している会計年度任用職員(パートタイム)の業務の一部を見直し、本来の業務に加えて臨時休業中の教科書配付や家庭での課題準備、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための校内消毒、三密回避のための対応等に従事させるもの。また、勤務日を増やして教員補助者の生活の安定を図るもの。 ②地方負担の会計年度任用職員報酬に充当(本来業務分1/2、新型コロナウイルス対策業務分1/2とする)。 ③—	4,963,176	4,963,176	会計年度任用職員の有効活用により、校内における感染防止対策業務や教員補助業務を円滑に行うことが可能となった。	R2.4.7	R3.3.31
11	学校給食対策事業	①新型コロナウイルスの感染症に伴う臨時休業中による、学校給食休止(4月以降)に伴う賄材料費学校設置者負担分に対応するもの。 ②賄材料費に充当 ③—	93,339	93,339	賄材料費の学校設置者負担分に充当することで、保護者の経済的負担を軽減することができた。	R2.4.23	R3.3.11
12	学校給食弁当箱方式変更事業	①新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、米飯を1食、弁当箱方式への変更に伴う経費。配膳方式は児童生徒が配膳するため、米飯に触れることが多く、配膳の必要がない弁当箱方式に変更する。 ②賄材料費に充当 ③—	703,207	703,207	児童生徒が配膳時に米飯に触れることを避けることができ、米飯を介した感染拡大の防止を図ることができた。	R2.7.16	R3.3.18
13	学校給食弁当箱購入事業	①新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、米飯を1食、弁当箱方式への変更に伴う経費。配膳方式は児童生徒が配膳するため、米飯に触れることが多く、配膳の必要がない弁当箱方式に変更する。 ②消耗品費に充当。 ③—	1,823,800	1,823,800	児童生徒が配膳時に米飯に触れることを避けることができ、米飯を介した感染拡大の防止を図ることができた。	R2.6.4	R2.7.30
14	図書館パワーアップ事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町民の在宅時間が増えることから、貸出に係る図書の蔵書を増やし、幅広いジャンルの図書を充実させる。 ②中央公民館図書スペースの蔵書購入費 ③—	539,475	539,475	蔵書を増やすことで、市中での活動自粛に協力いただける町民が、在宅時間も有意義に過ごすことができるようにした。	R2.4.7	R3.3.4
15	感染拡大防止必需品確保事業	①新型コロナウイルス感染症防止のための必需品を確保し、感染防止を図る ②マスク、手指消毒用アルコール、プラスチック版、フェイスシールド、次亜塩素酸ナトリウムの購入費 ③—	53,552	53,552	感染拡大防止に際しての必需品を確保し、必要な場面で使用することにより、町内における感染拡大防止を図ることができた。	R2.4.27	R2.6.11
16	住民健康支援事業	①新型コロナウイルス感染症の発生前後における町民の健康意識の変化を郵送により調査し、健康支援を図る ②アンケート調査用紙、封筒等、アンケート調査用紙郵送代 ③—	177,811	177,811	町民の健康意識調査により、町が町民に対して健康支援を図る際の参考とすることができた。	R2.6.29	R2.9.24
17							
18	図書館パワーアップ事業	①新型コロナウイルス感染拡大を防止することを目的に小学校が分散登校等の対応を行った場合、児童館で過ごす児童の環境を充実させるため図書を購入する。 ②児童館図書購入費 ③—	49,747	49,747	分散登校や時差登下校によって生じる空き時間においても、児童・生徒が図書室を有効活用でき、有意義に過ごすことができた。	R2.10.21	R2.12.24
19	地域環境整備事業	①各行政区の集積所等を管理及び清掃を行う衛生組合団体及び回収を行う町の指定回収業者にマスクを配布することによりコロナウィルス感染症拡大防止を図る。 ②マスクの購入費 ③—	867,900	867,900	コロナ禍においても町民の日常生活維持に必要な業務を担う団体や事業者にマスクを配布することで、活動による感染拡大防止を図ることができた。	R2.4.28	R2.6.19
20	地域環境整備事業	①コロナウィルス感染症拡大防止のため、マスクの着用やビニール手袋など使い捨て消耗品の増加により各家庭から排出される可燃ごみが増加したことへの対応によるごみ集積所の整備(ごみ集塵籠の増加) ②ごみ集塵籠の購入費補助金 ③各地区環境衛生組合団体	630,000	630,000	使い捨て消耗品が増えることでごみ量も増加したため、集積所を整備することで町内の環境美化の維持に資することができた。	R2.4.9	R3.1.7
21	地域環境整備事業	①家庭から集積所にごみを排出に来た住民が、コロナウィルス感染を防ぐことを目的に、各行政区の集積所等を定期的な消毒や清掃が行えるよう、衛生組合団体に活動費を支給し、コロナウィルス感染症拡大防止を図る。 ②大郷町衛生組合家庭清掃事業費 ③各地区環境衛生組合団体	2,974,000	2,974,000	家庭から排出されるごみによって集積所が汚染されることによる感染拡大の防止を図ることができた。	R2.4.21	R2.10.26

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況と効果

No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費 (円)	交付金 充当額 (円)	事業実施による効果	事業開始	事業終了
22	子育て世帯支援事業	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休校になるなどで負担が増加した子育て世帯(臨時給付金受給者)へ支援金として児童1人あたり1万円を支給する。 ②子育て世帯への支援金 ③大郷町立小・中学校に通学する児童・生徒がいる世帯	9,290,000	9,290,000	休校による家庭負担増に対応し、子育て世帯の経済的負担軽減を図ることができた。	R2.5.1	R2.10.1
23	水道事業会計繰出・補助事業	①基本料金を減免することにより、町民の生活及び町内企業の経済支援を行うもの。 ②水道事業会計に繰り出し、基本料金に要する費用を交付対象経費とする。 ③公営企業(水道事業)	25,153,480	25,153,480	日常生活に必要な水道の基本料金を減免することで、コロナ禍で悪化した家庭や企業の経済状況を支援することができた。	R2.9.1	R2.11.30
24	公共的空間安全・安心確保事業	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため夏季及び冬季に係る換気実施及びマスク着用に伴う来庁者等の環境整備のため空調設備の改修を行い、冷暖房機能の強化を図る。 ②空調設備改修費(機能強化) ③大郷町	43,780,000	43,780,000	空調設備の機能強化によって、来庁者や職員の庁舎内における感染拡大防止を図ることができた。	R2.8.14	R3.1.29
25	割増商品券発行事業	①新型コロナウイルス感染症の影響の緩和、地域経済の活性化及び町民の消費活動の支援を図るもの ②くろかわ商工会が取り組む割増商品券の追加として、5割増商品券の発行、取扱事務に対する経費及び引換券の郵送経費 ③くろかわ商工会	13,031,788	13,031,788	町民に割増商品券を発行することで、町内での消費喚起につながり、町内における経済活動の活性化に資することができた。	R2.8.14	R3.3.30
26	大学生等学業継続支援給付金事業	①新型コロナウイルス感染症による経済的影響によって、アルバイト収入や保護者の収入が減少しながらも学業の継続に励む町内在住の大学生等に対して給付金を給付し、次代を支える人材を育成する。 ②大学生等に対する学業継続支援給付金に充当。 ③大学・大学院生、短期大学・高等専門学校(第4学年及び第5学年に限る)・専門学校生(学校法人格を有し2年制以上に限る)	2,280,000	2,280,000	町内在住の大学生に給付金を給付することで、学生の学業継続を支援することができた。	R2.10.1	R3.2.3
27	小・中学校情報機器整備事業	①児童生徒に1人1台の情報機器を整備し、GIGAスクール構想による新しい教育に対応するもの。また、学校臨時休業等の緊急時に学校と生徒のやりとりが円滑にできるようWi-Fi環境が整っていない家庭に対する貸与を目的としたLTE通信環境の整備を支援する。 ②公立学校情報機器整備費補助金の地方負担分に充当。 ③大郷町立小・中学校の校舎及び児童・生徒と教師	58,688,850	41,745,850	感染拡大防止のための学校臨時休業時にも遠隔で教育等を行える環境を整備することができ、また、GIGAスクール構想にも対応した学校教育環境を構築することができた。	R2.7.1	R3.3.30
28	小・中学校情報通信ネットワーク整備事業	①児童生徒1人1台の情報端末が稼働可能な環境を整備するため、高速ネットワーク回線を整備するもの。 ②公立学校情報ネットワーク環境施設整備費補助金の地方負担分に充当。 ③大郷町立小・中学校	48,400,000	29,450,000	感染拡大防止のための学校臨時休業時にも遠隔で教育等を行える環境を整備することができ、また、GIGAスクール構想にも対応した学校教育環境を構築することができた。	R2.7.1	R3.3.30
29							
30	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、臨時休業とした児童クラブの保育料を免除する。 ②児童館業務委託料に充当 ③児童クラブ利用者	438,000	104,000	感染拡大防止を目的とした児童クラブの臨時休業に基づく保育料免除であり、コロナ禍における児童館運営に資することができた。	R2.4.1	R2.5.31
31	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校再開等にあたり、集団感染のリスクを避けるため必要な保健衛生用品等を購入するもの。(1/2補助) ②消毒用アルコールやハンドソープ、タオルペーパー等購入。 ③大郷町立小・中学校	198,915	98,000	学校における集団感染リスク低減に必要な衛生用品を配備することで、臨時休業していた学校の再開後に感染が拡大することの防止を図ることができた。	R2.10.1	R3.3.31
32	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、児童及び生徒の学びの保証をするための取組に必要なものを購入、整備する。(1/2補助) ②ハンドソープ、手指消毒液、ペーパータオル、非接触体温計等の購入 ③大郷町立小・中学校	2,558,539	1,308,539	学校における集団感染リスク低減に必要な衛生用品や資材等を配備することで、臨時休業していた学校の再開後における感染拡大の防止を図ることができた。	R2.10.1	R3.3.31
33	公立学校情報機器整備費補助金	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①GIGAスクール構想による1人1台端末の実現により可能となる遠隔学習の実施のため使用する機器(Webカメラ、マイク等)を整備するもの。 ②公立学校情報機器整備費補助金の地方負担分に充当。 ③大郷町立小・中学校	309,060	34,000	感染拡大防止のための学校臨時休業時にも遠隔で教育等を行える環境を整備することができ、また、GIGAスクール構想にも対応した学校教育環境を構築することができた。	R2.10.1	R3.3.30
34	子育て世帯支援事業	①特別定額給付金支給対象とならない基準日(R2.4.28)以降に今年度誕生した新生児を対象とし、特別定額給付金分に子育て世帯支援金分(2万円)を上乗せして支給する。 ②子育て世帯への支援金 ③令和2年4月28日以降令和3年3月31日までに新生児の誕生した世帯	3,360,000	3,120,000	コロナ禍における活動自粛に対応する家計支援として、出生時期による不公平が生じることのないような支給を行った。	R3.3.5	R3.3.31
35	公共的空間安全・安心確保事業	①町の避難所となる体育館において、感染症拡大防止のため、隔離施設として使用する会議室への間仕切りパーテーションを設置するとともに、アリーナ内の換気用排煙オペレーターを設置する。 ②パーテーション設置工事、排煙オペレーター設置工事 ③フラップ大郷21	3,509,000	3,509,000	隔離の必要性が生じた場合に当該隔離施設からの感染拡大を防ぐため、必要な資材を設置し、発生時への備えを行うことができた。	R3.2.9	R3.3.22
36	公共的空間安全・安心確保事業	①町の避難所となる文化会館において、感染症拡大防止及び避難スペース確保のため、会館ホールの収納式移動椅子のシステム制御基盤を改修するもの。 ②電動椅子センサーユニット修繕、LED表示器、制御補助リレー等部材 ③大郷町文化会館	3,347,300	3,347,300	隔離の必要性が生じた場合に当該隔離施設からの感染拡大を防ぐため、必要なスペース確保のための措置を実施し、発生時への備えを行うことができた。	R3.1.29	R3.3.18
37	公共的空間安全・安心確保事業	①外出自粛による子どものストレスの緩和、運動不足解消による心と体の免疫力の向上のため、屋内施設での3密を避け、より安全で清潔な屋外施設として、児童・園児等が安心して外で遊ぶための遊具を更新する。 ②遊具設置工事 ③郷郷ランド	46,977,700	37,898,927	外出自粛が子どもに及ぼす悪影響を低減し、児童・園児の心身の健康維持を図ることができた。	R3.7.27	R4.3.24
38	ワーケーション等支援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため民間企業等でのサテライトオフィス導入の受け皿として、町有宿泊施設をサテライトオフィス対応のための改修及び備品購入する。 ②サテライトオフィス化改修工事・備品購入 ③パストラル緑の郷	6,076,830	4,347,830	既存施設の改修によりサテライトオフィスの環境を整備し、民間企業等が利用を希望した場合に即時対応できるような受け皿を設けた。	R2.10.30	R3.3.17
39	公共的空間安全・安心確保事業	①町有施設である物産館の換気装置が十分稼働していない箇所があることから、十分な換気環境を確保することで新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。 ②物産館「道の駅おおさと」排煙窓オペレーター修繕 ③道の駅おおさと物産館	594,000	594,000	集客施設である道の駅の換気環境を確保し、施設内での感染拡大防止を図ることができた。	R3.3.17	R3.4.23
40	公共的空間安全・安心確保事業	①議場は密閉された空間であり、換気等は不可能であることから空調機が外気の循環を担っているが、昨今、老朽化に伴う故障及び不具合が発生しており十分な機能が確保できない状況にある。通常であれば緊急性は低いため財政状況を考慮しつつ改修等を行うところであるが、新型コロナウイルスの影響により機能を確保する必要があるため実施するもの。 ②空調設備改修費 ③大郷町議会議場	9,350,000	9,350,000	公共空間である議場での空調設備を改修し、密閉空間における換気機能を強化することで、議場内での感染拡大防止を図ることができた。	R3.7.1	R3.11.30
41	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、児童及び生徒の学びの保障をするための取組に必要なものを購入、整備する。(1/2補助) ②小学校消毒業務、ハンドソープ、除菌アルコール等購入、タブレット画像表示装置購入など ③大郷町立小・中学校	1,806,089	907,089	学校における集団感染リスク低減に必要な衛生用品やGIGAスクール構想に対応した備品等を配備することで、臨時休業していた学校の再開後における感染拡大の防止を図ることができた。	R3.1.13	R3.4.6
合計			345,654,021	292,454,000			